

【コースタイム】

柏原新道登山口	5 : 5 5
ジャンクションピーク	8 : 2 5
爺ヶ岳南峰	9 : 3 7
柏原新道登山口	1 1 : 5 0

扇沢柏原新道登山口から残雪の爺ヶ岳に登りました。
登山口付近の登山道には既に雪はなく、フキノトウも少し臺が立った状態。
谷筋など影の部分には雪が残っていますが、まずは土の道を行います。登り
始めは夏道を行きますが、途中からところどころ雪道となり、いつの間にか冬
道に入っていました。

冬道は雪があるところは踏み抜きに気を付ければ歩きやすいのですが、雪がなくなると木の枝や根が立ちふさがり、
歩みにくい。苦労して登っていくと、徐々に雪道の割合が増え、ついに長い雪の登りとなりました。（写真 1）ジャン
クションピークへの登りは段々畑状になっており、緩斜面と急斜面が交互に現れます。なんだろう？ジャンクシ
ョンピークまでの道のりは長く、途中暑くなり上着を脱いだり、風が吹いて寒くなったり服装の調整が難しい。

ジャンクションピークからは爺ヶ岳が望めました。この後、天候が悪くなる予報のため、今のうちに爺ヶ岳と記念
撮影。（写真 2）この辺りから高い木がなくなり、風が強く感じられます。ここからは、ゴールが見えているので、一
気に！と言いたところですが、既に疲れ切っており、足が動かない。頭がくらくら。目もかすむ。休み休み登りまし
た。途中、谷の向こうには針ノ木雪渓が。北側斜面ということもあり、雪がたっぷり残っています。（写真 3）

尾根筋を登っていくと徐々に風が強くなり、爺ヶ岳南峰山頂に到着するも爆風。雲も湧いて遠くの山は見えませ
んでした。飛ばされないように何とか記念撮影をして、すぐに下山しました。（写真 4）

下りは雪の上は軽快に下りましたが、雪がなくなると濡れた木の根が張り巡らされた雪解けの冬道。滑りやすく、
登り以上に歩みにくい。足が疲れて動きが鈍いため、転倒しないように慎重に下りました。

残雪期登山について少し学べた山行でした。

写真 1 ジャンクションピークへの登り



写真 2 ジャンクションピークにて爺ヶ岳と記念写真



写真 3 針ノ木雪渓

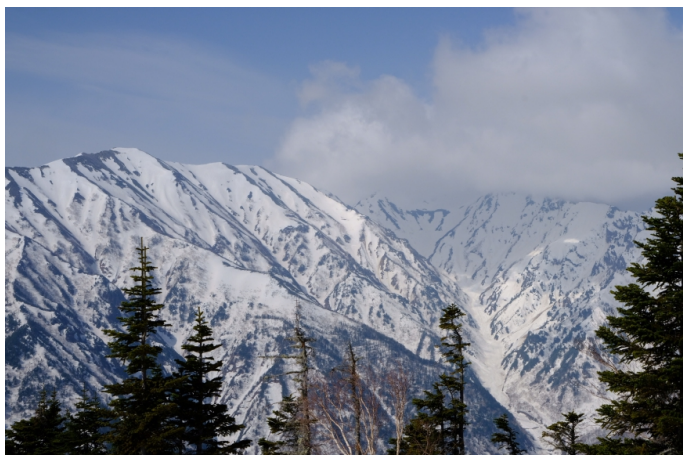


写真 4 南峰山頂にて

